

Les tablettes de cette semaine #99

早いものでもう6月になってしまいました。今年はまだ既に夏の気候と日差しですね。チョコレートにはつらい時期ですが、少し涼しくなる夕方、夜にチョコレートを食べたり、冷たいチョコレートドリンクを飲んだりして乗り切ろうと思います！

今回は、プラリュのチョコレートについてご紹介いたします。1988年に、パティシエの父からメゾンプラリュを受け継いで現在もくつもブティックを持つ、人気のショコラトリーです。プラリュと聞いて思い浮かぶのは、カラフルな産地別のピラミッドチョコレートでしょうか。とっても繊細で、見た目にも美しく、そして美味しいですよ！そんなプラリュから、このようなざっくりした大きなチョコレートも販売されています。

ヘーゼルナッツのバーは、厚みが2センチ、長さが約18センチとかなり食べ応えのあるチョコレートです。ベースはミルクチョコレートで、中はヘーゼルナッツとアーモンドのプラリネ、そしてさらにごろごろとヘーゼルナッツが入ってます。邪道かもしれませんが、冷たく冷やして、夏の暑い日にぱりぱりと食べたいイメージも！チョコレートって、もっと気軽に日常に溶け込んでいくべきだと思うのです。そんな気持ちにぴったりとくるチョコレートバーです。

そしてもうひとつ。わたしが大好きなミルクチョコレート、メリッサです。キャラメル感もありつつ、なんだか塩味も感じられて、これひとつでデザートが完成しているようなそんなタブレットです。一口で満足感がすごいのに、気づくとまた食べてます。乳味も特徴的で、ほんのリチーズのような、そんな力強さも感じられます。なぜかこれを食べるたびに、ハイジの藁のベッドを思い出すのですが、それはこの乳味からきているのかもしれませんが……。

とうとうこの記事も99回をむかえ、次回は記念すべき100回です！いつも、読んでくださって有難うございます。最近はじめでお会いする方で、この記事を読んでくださっているという方が何人かいらっやっいて、本当に本当にうれしいです！これからも宜しくお願いします。

